

平成25年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年10月3日(木)
午後2時～午後4時
- 2 開催場所 小牧市役所本庁舎4階404会議室
- 3 出席者 会長 長尾 英俊 委員 佐藤 史郎
 委員 花井 忠征 委員 中川 宣芳
 委員 舟橋 巧 委員 岩瀬 勝美
 委員 鹿島 美枝子 委員 松浦 昌美
 委員 田中 雅之
- 4 欠席者 委員 黒田 真二
- 5 説明のため出席した事務局員
(教育委員会事務局)
 教 育 長 安藤 和憲 教育部長 中嶋 隆
 教育部次長 舟橋 泉 スポーツ推進課長 服部 裕一
 スポーツ推進係長 長谷川 潤治
 スポーツ推進係主事 吉田 祐将

(小牧市体育協会)
 事務局長 井上 武 事業係長 青山 寿彦
- 6 傍聴者 1名
- 7 会議の内容
(1) 議題
 議題第1号 平成24年度社会体育事業実施結果概要について
 議題第2号 平成25年度社会体育事業実施計画について

(2) 報告・連絡事項
 報告第1号 ジュニアクラブの経過について
 報告第2号 総合型地域スポーツクラブの現状について
 報告第3号 平成24年度体育施設利用状況について
 報告第4号 平成24年度(公財)小牧市体育協会事業報告及び収支決算について
 報告第5号 平成25年度(公財)小牧市体育協会事業計画及び予算書について

8 会議の資料

- (1) 平成24年度社会体育事業実施結果概要
- (2) 平成25年度社会体育事業実施計画
- (3) 中学校ジュニアクラブの地域連携型部活動への移行について
- (4) 総合型地域スポーツクラブの現状について
- (5) 平成24年度体育施設利用状況
- (6) 平成24年度事業報告及び収支決算 公益財団法人小牧市体育協会
- (7) 平成25年度事業計画及び予算書 公益財団法人小牧市体育協会

9 議事内容（要旨）

○事務局

只今から、平成25年度の第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。

小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づいて、会議を公開となっており、本日の傍聴人は1名であります。

欠席の委員は、黒田委員であります。

それでは、教育長より挨拶を申し上げます。

○教育長

皆さんこんにちは。本日はたいへんお忙しい中、本審議会にご出席いただきましてありがとうございます。今年は小牧山が県内外から注目を集めている年です。9月21日からの3日間で「こまき信長まつり」を開催し、約12万5千人の方がお越しいただき、大いに小牧をPRする機会になったと思います。また、2020年には東京にオリンピックが誘致されましたので、7年後には東京でオリンピックを見ることができ、国民に明るい話題を提供していただいたと思います。これを機に、小牧のスポーツ全体がさらに盛り上がっていくことを期待しています。

本日は議題を始め、報告事項についても委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきまして、本市のスポーツ行政の推進を図っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○事務局

続きまして、長尾会長よりあいさつをお願いします。

○会長

あらためまして、こんにちは。教育長の挨拶でもありましたが、7年後のオリンピックには、小牧市も何らかの大きな影響を受けながら、変えていかないとはいけなと思っています。私たちの使命というのは、小牧市民の健康で明るい生活をスポーツの施策で実現していくことであり、少しずつステップアップしながら考えていきます。委員の皆様から忌憚のないご意見を頂きながら進めていきたいと思います。

○事務局

- ・議事録署名人を舟橋巧委員に指名
- ・規定により会長が会務を総理するので、会長に議事進行を依頼

○会長

それでは、議題第1号「平成24年度社会体育事業実施結果概要について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○事務局

(議題第1号、資料に基づき概要を説明)

○会長

事務局から説明が終わりました、何かご質問はありますか。

○委員

学校体育施設開放事業では、中学校の運動場は1校が開放されているだけですか。

○事務局

小学校は校区の地域住民に対する開放であるが、中学校は競技団体に対する開放のため、開放している学校が少なくなっています。また、学校体育施設開放事業とは別に、小牧西中学校と桃陵中学校については、照明施設があるので夜間に開放しています。

○会長

「小中学校運動部活動への指導者派遣事業」について、実績が中学校しか記載していないが、小学校の実績はないのですか。

○事務局

中学校については、競技性が強いので民間指導者の派遣の要請はありますが、小学校はジュニアクラブの民間指導者が入っており指導者が足りているので、指導者の派遣の要請がないと考えます。

○会長

以前は、中学校については平日が部活動、土日がジュニアクラブであったが、現在は、平日と土日のすべてを部活動としており、部活動で外部指導者を派遣していた時は、すべてこの予算で対応していたということですか。

○事務局

そのとおりです。

○委員

観戦スポーツ誘致事業で、高校野球誘致事業の入場者数が記載されていない。去年からは、高校野球の準々決勝戦までを小牧市に誘致しており、入場者数の実績が増えていると思うが、入場者数は何人ですか。

○事務局

今年度については、約1万8千人の方が入場しています。

○会長

他にご質問はありますか。ご質問もないようですので、議題第1号「平成24年度社会体育事業実施結果概要について」は、承認いただけますか。

(委員から異議なしの声)

○会長

異議なしとのことですので、議題第1号は承認いたします。続いて、議題第2号「平成25年度社会体育事業実施計画について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○事務局

(議題第2号、資料に基づき概要を説明)

○会長

既に進行している内容もありますが、ご質問はありますか。

○委員

民間指導者養成講習会では、どのような研修を行っているか。講習会では、指導者の資質や指導の在り方が組み込まれているのか、何が体罰になるのか具体的なことを示す内容があるか。また民間指導者の派遣は、この講習会を受講している人が派遣されているのか。

○事務局

講習会は2日間で開催し、「スポーツと栄養」、「スポーツ医学」、「スポーツ心理学」、「スポーツ事故の対策」、「スポーツ生理学」、「ジュニア期の指導」等の8項目を、座学として実施しました。

○委員

そういうことを学ぶ機会がなかった方に対して、広く提供するのは大切であるが、指導者として子供達の前に立つときの姿勢を、あらためて見直していくべきである。気づかない内に体罰やパワハラになっていることを、教員側でも知らない者が多い。指導者の養成も大事だが、指導者の研修を行事として済ますのではなく、安全・安心の指導体制がとれる中で、指導者を市から送り出していきたい。トラブルが起きた時に、子供は意外に発信できない。例えば、選手になりたいから黙っていたり、親も同様になることもあるので、そういう状況にならないような指導者を派遣するのが、ここの義務ではないかと思う。

○会長

外部指導者派遣事業で活躍している指導者の資質を、十分に考慮して派遣しなければいけないという意見もあると思うが、どういう考えですか。

○事務局

小中学校の民間指導者は、学校の校長などが地域の中から探してくるということもありまして、そういう方も教育委員会としては、民間指導者と認めている。きちんとした研修システムができているかと言うと、まだ十分でないと考えるので、今後に向けて検討していきます。

○会長

民間指導者が外部から入ってくるという点は良いが、部活動の指導者として教員もいるので、お互いの連携をうまく取っていかないとプラスにならない。講習会を受けたから良いのではなくので、基本的なことは今のご指摘をpushさえていかないといけない。

○委員

公認スポーツ養成講座の対象者はどういう方か。また、何名くらい受講しているのか、受講者はその後どういう活動をしているか。

○事務局

講座の周知については、広報こまきに掲載して募集しています。また、併せて過去の受講者に対しても、講座の案内文を発送しています。昨年度は32名が受講しました。

○委員

この講座を受講すると、何か資格がもらえるのですか。

○事務局

2年間の指導員の資格証を発行するので、民間指導者として活動することも、その後の活動の1つではあります。

○委員

パークアリーナのサッカーグラウンドの東側に川があり、ボールが外へ出ないようにフェンスがあるが、ボールがフェンスを越えて川に入ると非常に危険である。グラウンドの外にボールが出た回数を記録し、フェンスの嵩上げを予算要求してはどうか。

○事務局

サッカーグラウンドの運用状況を確認したうえで、検討していきたい。

○事務局

先ほどの平成24年度実績の補足ですが、学校体育施設開放事業の実績で記載している中学校の1校は応時中学校ですが、実際の実績はありませんでした。高校は、小牧・小牧南・小牧工業高校の3校と契約しておりますが、利用した高校は、小牧南高校のみで184人の利用実績です。

○会長

学校運動場の開放は、例えば、うちの学校を地域へ開放してもいいですよとか、指定されてくる訳ではないのですか。中学校が1校だけの開放となっているのがよくわからないが、この件は、早急に答えて頂かないといけない問題ではありません。

学校施設は地域の施設であり、基本的にはすべての学校を地域へ開放していくことが良いと思うが、できないのであれば、学校の事情があることになるので、次回にこの件を説明ください。

○委員

南スポーツセンターグラウンドで万博駅伝の選手選考を行った時に、選手の保護者が、大変よく整備されていると褒めていた。また、中小体連で、さかきテニスコートを使っているが、駐車場が限られているので保護者が車を止めづらかった。しかし、さかき野球場のグラウンドを案内していただけたので、体育協会の対応が向上していると思った。こういうところに気を付けていく事が、社会体育事業の定着にも繋がっていくと感じた。

○会長

他にご質問はありますか。ご質問もないようですので、議題第2号「平成25年

度社会体育事業実施計画について」は承認いただけますか。

(委員から拍手多数)

○会長

議題第2号は承認いたします。それでは、司会をお返ししますので、これ以降は、事務局で進行をお願いします。

○事務局

ありがとうございました。次に報告・連絡事項の(1)～(3)について、事務局から説明します。

(資料1～3に基づき概要を説明)

○事務局

何かご質問はありますか。

○会長

以前にジュニアクラブのクラブ数を中学校で70～80クラブと聞いていた。今回のクラブ数と相違があるが、どういう数え方ですか。

○事務局

この資料は、民間指導者として派遣している部活動数を記載しています。指導者が先生のみでの部活動が他にもあるので、実際のクラブ数は少し増えます。

本来は、中学校の部活動は全て地域連携型部活動であるが、今回は違う数え方をしているので、誤解を与えてしまいました。

○委員

学校部活動民間指導者派遣事業で、「1回当たり2千円」と具体的な記載がある。しかし、「教職員については、体育的部活動指導謝礼を充実する」とあいまいな表記になっているが、どうしてか。また、「教職員」とは事務職員も含むということか。

○事務局

教職員は、学校教育課で予算化しており、スポーツ推進課の予算とは別になっているので、このような表現となりました。また、事務職員が部活動を指導することもあるので、「教職員」としました。

○委員

地域連携部活動の最終時間は決めていますか。

○事務局

平日については、夏は午後6時に終了するとか、年間で下校時間は決めているので、部活動は、学校ごとに大体同じ時間帯に終了しています。また、冬は日没が早いので下校時間が午後4時30分～午後5時になり、実際には部活動を実施することはできません。日没の時間を目安に、各学校で下校時間は決めています。

土日については、午前や午後に部活動を行うこともあるので、部活動の担当者が、適切に終了時刻を決めています。

○事務局

続きまして、次に報告・連絡事項の(4)、(5)について、体育協会から説明し

ます。

(資料に基づき説明)

○事務局

何かご質問はありますか。

○委員

平成24年度収支計算書の「予算額」と、平成25年度収支予算の「前年度予算額」の金額が、全ての科目で相違があるがどうしてか。

○事務局

平成25年度収支予算の「前年度予算額」は平成24年度の当初予算ですが、平成24年度収支計算書の「予算額」は、補正後の予算であります。

○委員

初めてこういう場に来た方が、数字の実績を聞いてもよく分からないのではないかと。先ほどスポーツ推進課の実績報告を行ったのに、どうして再度、体育協会の同じような事業報告を聞いたのか、よく分からないと思う。小牧市体育協会とスポーツ推進課の組織としての位置付けを、簡単に説明してください。

○事務局

大きく分けると、スポーツ推進課は、社会体育事業の計画策定といった全体的なことを行い、それに対して、体育協会はその計画を実現する組織として活動しています。また、体育協会は、パークアリーナ小牧、南スポーツセンターなどの体育施設の管理運営を行う指定管理者にもなっています。他には、市民体育大会などの開催事業の運営を、小牧市から受託しています。

○委員

体育協会は、市役所の中にあるのですか。

○事務局

体育協会の事務局は、パークアリーナ小牧に事務所があります。新庁舎が今年の7月に完成するまでは、旧体育課（スポーツ推進課）も体育協会と同様にパークアリーナ小牧にいましたが、新庁舎の完成とともに、スポーツ推進課は市役所の本庁舎に入っています。

○事務局

他にご質問もないようですので、報告・連絡事項を終わります。次に「4 その他」ですが、事務局から何かありますか。

○事務局

情報提供としてお話ししますが、体育協会の加盟団体である「スポーツ振興会」についてであります。スポーツ振興会とは、昭和50年代に各小学校区に設置し、地域のスポーツ活動の活性化を目指して、他市にはない先進的な取り組みを行い、成果を挙げています。しかし、結成から30年が経過し、最近では役員の高齢化や事業のマンネリ化が見られ、各スポーツ振興会での活動内容について、活動が盛んなところ、そうでないところといった「ばらつき」が見られるので、更なる活性化が必要でないかと考えており、体育協会の内部でも補助金のあり方を見直そうとい

う動きがあります。これまでは、各振興会に対して、一律の補助金額でありましたが、実際のスポーツ振興会の実情に合わせる形に補助金の制度を変更するように、体育協会内部で検討を始めております。

また、2点目としては、スポーツ振興会は「総合型スポーツクラブ」を目指してやっていますが、実際には、まだ総合型スポーツクラブの要件は満たしていません。しかし、最終的に目指すところは同じであるので、振興会の名称を、例えば「〇〇スポーツクラブ」と変えていってはどうかと検討しています。今月ぐらいに各地区の振興会の代表者を集めて、意見を聞きながら進めていきたいと思えます。体育協会が各地域に対して、そういう働きかけをしていることをご承知ください。

○事務局

特にご意見もないようですので、以上をもちまして、平成25年度小牧市スポーツ推進審議会を閉会いたします。